

# 一般社団法人高野町観光協会

## 戦略の策定状況・KPI 達成状況・PDCA 実施状況 年次評価・分析資料

### 1. 戦略の策定状況

高野山の「祈り・精神性」を基盤とした高付加価値観光を推進。

令和6年度は、これまでの取り組みに重ねて自治体（高野町）・金剛峯寺・宿坊協会・商工会等と連携し、DMO高野町として戦略推進。地域の合意形成を得て活動を展開。

地域資源を活かした体験型観光（ナイトウォーク、瞑想体験等）の造成、受入環境整備（多言語対応、Wi-Fi、トイレ改修等の充実）が進展し、戦略との整合性が確認された。

### 2. KPI の達成状況

KPI項目	目標値	実績値	達成状況	分析・評価
旅行消費額 (総額)	8,650 百万円	15,669 百万円	◎	大幅達成。 インバウンド回復の寄与が大。
一人当たり 旅行消費額	23,000 円	27,065 円	○	上昇傾向だが変動あり。 体験商品の充実が寄与。
延べ宿泊者数	299,475 人	201,678 人	△	国内宿泊需要が停滞。 一方でインバウンドは過去最高。
満足度	89%	97%	◎	KPI を大きく超過。高評価維持が課題。
リピーター率	68%	70%	◎	高水準で安定。 但し、新規客開拓とのバランスが必要。
WEB利用者数	110,000 人	213,423 人	◎	リニューアル効果で倍増。 DXの成果。

### 3. PDCA の実施状況

Plan（計画）：観光資源磨き上げ、受入環境整備、プロモーションを計画。

Do（実行）：ナイトウォーク・青空瞑想・学童野球大会など具体事業を実施し、WEB・SNSで発信。

Check（評価）：アンケート調査・Google フォームを活用し、満足度・リピーター率・旅行消費額を把握。  
理事会・総会・三者会で進捗を報告。

Act（改善）：分析結果をもとに、体験商品の改善・新規造成、多言語パンフレット追加、受入環境整備を強化。

#### 【評価】

PDCA は一定程度機能しており、満足度・リピーター率・WEB 利用者数は改善傾向を示している。

一方で宿泊者数やインバウンド単価の変動は課題であり、次年度は国内需要拡大と安定化施策が必要。

### 4. 総括

令和 6 年度は、戦略の策定と実行が計画通り進み、KPI も多くの項目で目標を達成または超過した。

特に DX の推進や満足度向上は顕著な成果である。

一方、宿泊者数やインバウンド単価には課題が残るため、次年度は国内宿泊需要の喚起策と安定的な収益構造づくりに注力する。